

# 東北日日新聞

本報創刊三十周年紀念  
年報三冊 月刊三冊  
中報三冊 週報三冊  
無休 無休 無休  
休 休 休  
刊 刊 刊  
日 日 日  
石 石 石  
城 城 城  
東 東 東  
北 北 北  
日 日 日  
日 日 日  
報 報 報

## 炭礦の窮状を物語る

### 常磐各驛の出炭量

前年同期より四萬百噸減  
炭價は益々下るばかり

常磐各炭礦關係各驛の七月減を示してゐる更らに本月中の發送炭量を調査するに十日までの無煙有煙を通じ無煙炭營業用三萬二千噸の發送量は五萬四千八百四十九噸一噸、鐵道省用九十三噸で昨年比すれば二千四百噸、合計三万四千噸間に一萬二千六百二十五噸、有煙炭營業十一噸の減少を見て、用七萬九千九百六十六噸の數字こそ炭界の窮状を鐵道省用五萬一千二百四十四噸に物語るもので然も炭十四噸合計十三万一千二百噸は甚だしく下落し今後とも減少する事が明かであるこれを前年同期に比すればといふに至つては悲惨の極實に四萬百七噸といふ大減みである

## 緊縮時代に

### 合理的な申合せ

#### 磐城炭礦上層親和會で

石城郡内郷村磐城炭礦の従業員よりなる上層親和會では去る十二日午前十一時より同礦上層クラブに於て左の如く緊縮時代に合理的な申合せをなした

一、中元に關して  
親族及び特別關係者以外贈答品廢止  
二、新盆に關して  
親族及び特別關係者以外贈答品廢止  
三、新盆に關して  
親族及び特別關係者以外贈答品廢止

## 安島氏再選

石城産畜組合長に  
石城産畜産組合代議員會は十四日午後一時平町各種團體事務所で開催、満期による組合長改選の結果安島重三郎氏再選した

## 不動澤炭礦に

### 再び増額を交渉

けふ正午から同礦務所で  
解雇者側は結束固し

石城郡内郷白水不動澤炭礦所長と會見し種々協議をなして去る九日坑夫福島安太氏が解雇者二十三名は夫郎外二十二名を十四日分の乘黨の統率下にあり結束する手當を支給して解雇したのこぶる強こうである爲め今日大衆黨加藤木、中原氏等が會社側に對し手當増額を要求したことは既報の如くであるが十二日の會見は遂に協定を見ずそのまゝに對つたので同氏等は更に對策を協議し左の如き決議文を再び高階所長の手許に提出した

一、五十日分の手當を支給する事  
二、會計殘額を差し引かざる事  
三、家族全部の歸郷旅費を直ちに支給する事  
四、共濟會積立金を支拂ふ事

## 自動車傷害

追ひ越さん  
湯本で

昨十四日午後四時ころ石城郡湯本町傾城二〇番地地内國道で同番地居住の高田庄藏(四四)が平町新町尼子自動車一七五號より下車せん走して来たところ後方より疾走して来た同自動車部運轉手渡邊村田邊生れ酒井武彦(二二)が運轉せる百七十八號自動車にすれ違つた際同人を突倒し腕部その他に受傷を負はせたと同坑務所に於て高階全治一週間の傷を負はせたと

## 釋放された歸りに

署から帽子を失敬  
手におへぬ磐炭の雜夫

石城郡内郷村高坂御殿山屋住磐城炭礦雜夫佐藤留次郎(三八)は今朝五時半ころ同村大木下綴劇場前を通行中の納豆賣子平町長橋町梶原米次(四四)に納豆値を負けさせようとしたところ梶原が應じないので怒つて頭部に小石を打ちつけ傷を負はせその足で同村居住もど内縁の妻キク(三四)方に至り同人の夫徳治を新割用の斧を揮つて追ひ廻してゐるのを綴駐在の佐藤巡査に檢舉され嚴重説諭の上釋放されたところ又々小使室にあつたメギワラ帽子を窃取し逃走し平町仲町某方留守宅に侵入して臺所より飯びつを出して食つてゐるところを逮捕された

## 植田水電で

再度値下斷行

諸物價の値下げに鑑み各會社に率先してさきに料金額下げを斷行した植田町植田水力電氣會社ではその後尙ほ値下げの餘地なきものか金成社長が各社員と細密な研究を續けてゐたがこのほど漸く左記の如く再度値下げを行ふと共にそれらしい勢ひを以て時代を歴してゐるが平町に於ても平麻雀俱樂部が開業され續いて一丁目に日本麻雀俱樂部が

## 平町に

麻雀俱樂部

二名許可さる  
麻雀俱樂部



世態 雜相

許可され今十六日から開業した同俱樂部は近く東京より菱谷三段を招き一般に傳授する由である尙同所は一莊六十錢である

陸軍省の新聞班長であつた櫻井忠温君、この頃の悠々自適の境地からしみじみと述懐してゐる。死んでも墓地へ石をのせないうでくれ、背のふといふ重いもので一生苦しんで来たから死んでまで重い墓石はゆるしてくれど。前半生が、はなやかであつた故か、後半生はなんとなしに、うら寂しい氣がする。

大阪市の米國視察團二十二人が、山根團長と共に出發したが、不正入國とみられてサンフランシスコで米國官憲によく留されるに到つた。保證金、即ちみせ金を要求されて無いなどは、あまりに耻さらしである。ぐつぐつするだけ耻になるからかへれよ。最近のアメリカでは、何故に入國嚴重な監視と取調べをやるかといふのに物質万能の國にも自國民の多數と、富とは嚴密なる意味に於て、米人その

者でないといふことに氣づいたのである。建國の精神が黄金魔によつて、崩壊しつつあることを知つたとき、あまりにも根差し深い國家の疾患となつてゐることに泣かざるを得なかつた。米國が、外人の入國に極端な神經鋭びになつてゐるのが、その爲めさ。

吳海兵團から脱營して十年間、公吏の生活をして逃げ終てきたが、情婦がにんしんして窮した未墮胎させて、尻がばれ御用となつた。

逃げるとは辛けふ者、忌なら堂々と戦ふべきである。

藤澤定夫卑けふ者奴。

民政黨の有志代議士會で高級官吏の減俸決議をしたが、この前のやうに消えてなくならないやうに頼むせ。

お手並のほど、いざ拜見、モウ一度頼むせ。

町田農相が、必死となつて農村救済にはん走してゐる。

然し、高利貸のやうにいろ／＼の複雑な手續があつて、その上に天下り式の命令、たんば、保證ふざけるない。

徳川時代の百姓と、百姓が違ふといふことがわからんか。

